



アオノクマタケラン (ショウガ科 *Alpinia intermedia*)

## 名古屋大学博物館友の会

# NUM 友の会ニュースレター

## No. 55

### 2019年7月9日発行

## 友の会の集いの報告

2019年6月8日(土) 13:30~16:00  
博物館講義室(3階)

13:30 講演 足立 守

名古屋の地名の由来：あなたは知っていますか？



講演のイントロとして、濃尾平野の鳥瞰図とデジタル標高地形図「名古屋」を使って、小牧山、犬山、小田井の地名と関連する以下の話がありました。

- ・小牧山：大昔の木曾川の浸食によってできた山で、古くから地元の人にとってのいい目印。とくに小舟に乗って濃尾平野の様々な川伝いに伊勢湾方面に出かける漁師の中には、帰路、小牧山がよく見えたら船の帆を巻き一安心する人も多く、昔は帆巻山(ほまきやま)と呼ばれたことがありました。帆巻山が小牧山に変わったと言われています。
- ・犬山：尾張国二宮の大縣神社のあった本宮山から見て北西(乾)の方角にある山、つまり乾山(いぬいやま)が犬山(いぬやま)に変わったという説が本当のようです。
- ・小田井人足：名古屋城下を庄内川の水害から守るため、毎年のように治水工事に駆り出された小田井の人達が、自分たちの家や田畑を守るために一生懸命仕事をしなかったことから生まれた言葉。「仕事をしない人、役立たない人足」というニュアンスがありました。その背景には小田井の人達が経験した悲惨な治水史が隠されています。

14:30 友の会総会

活発なご意見をいただきました。実現に向かって努力します。

友の会会員が部屋を利用したい場合、副代表の島岡さんを通して予約できます(4頁目下段のメールアドレスに連絡ください)。

今年度のNUM友の会担当の博物館スタッフは門脇先生です。

15:00 ミニコンサート

総会の後、恒例のミニコンサートが同じ講義室で行われました。博物館ならではの音楽をご紹介したく今年は東海地区で幅広く活躍されているアイルランド民謡演奏グループの「KABA」さんにご出演願いました。バオロン(打楽器)、フィドル(バイオリン)、ギターという3人でのシンプルな構成ながら「London Derry Air」や「John Ryan's polka」など哀愁のある懐かしい旋律と一緒に口ずさむ方々や踊りたくなる様な軽快なリズムに手拍子で参加される方々もいて、会場に差し込む夕日の日差しの向こうにアイルランドの草原が広がっているかの様な素晴らしい午後のひと時となりました。(担当:村瀬)



## 2018 年度活動報告

◆2019 年 3 月 31 日現在会員 475 名

◆2018 (平成 30) 年度会計報告

(2018. 4. 1～2019. 3. 31)

事項	収入	支出	差し引き
前年度繰越	720,362		
2018 年度会費 (2018. 4～)	78,000		
郵送料		133,497	
謝金		20,000	
サークル活動補助		8,000	
ボランティア補助		21,000	
カレンダー作成補助		18,864	
事務経費等		16,155	
その他(ボランティア保険料等)		3,352	
2018 年度計	798,362	220,868	577,494
2019 年度 (1 月～3 月)	260,000		260,000
来年度繰越	1,058,362	220,868	837,494

◆博物館及び友の会へのご希望、ご意見、お便り等(返信ハガキから)

- ・地名についての講演、興味」があり楽しみにしています。
- ・観察園見学の回数(四季折々)を増やしていただけたらと思います。
- ・浜頓別の「北の縄文人」の研究は続いているのでしょうか?
- ・同封の案内(ニュースレター)の礫岩(レキガン)が読めませんでした。ふりがながあると良いかなと感じました。
- ・ポタニカル、楽しいです。ありがとうございます。
- ・昆虫関連のイベントを企画していただけると嬉しいです。
- ・私個人にて某文化センターに入会させていただいています。名古屋大学教職員の先生方のご活躍を拝見させていただいて居ります。益々の名古屋大学のご発展をご祈念申し上げます。
- ・専門家でなくても理解しやすいお話が嬉しいです。
- ・野外の地層観察に参加したいのですが、土曜日は働いているので無理なんです。日曜日と祝日の月曜日の開催を希望いたします。
- ・年に何回かのコンサートがいつも午後からですが、午前でもやっていただけると参加できるので幸いです
- ・博物館を訪れたときに階段の踊り場にあるチラシ

をチェックするのも楽しみです。九州など遠方のものもあり、京都工芸繊維大学の美術工芸資料館はいつか行きたいなと思います。これからもよろしくをお願いします。

- ・いつも楽しい企画を考えていただきありがとうございます。なかなか参加できませんがよろしくをお願いします。
- ・毎回毎回、価値ある貴重な企画を連絡くださりありがとうございます。感謝です。友の会の関係の方々の益々のご活躍、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。
- ・今後もニュースレター発送、イベント等で参加させていただきたく思っています。よろしくをお願いします。

## 2019 年度活動方針

1. ニュースレター発行予定(4回)  
2019 年 4 月、7 月、10 月、2020 年 1 月
2. サークル活動支援  
ポタニカルアートサークル(年 11 回 2 クラス)  
シャンソンサークル 年 12 回開催  
写真サークル 年 9 回開催  
ミクロ倶楽部 年 7 回開催  
自然誌サークル 年 数回開催
3. 会員限定企画の充実
  - 1) ギャラリートーク
  - 2) 講演会や各種行事における会員特別枠の設定
  - 3) 行事予定の早期発信
  - 4) 博物館教員等との交流
  - 5) 自主活動としてのサークル・同好会の結成
  - 6) 会員相互の親睦 博物館ツアーなど
  - 7) その他
4. 大学連携キャンパス講座への参加
5. 博物館活動に対するボランティア活動のお願い
  - 1) 来館者対応
  - 2) 野外観察園
  - 3) 友の会事務局の作業補助  
名簿管理・入会受付・会員証発送・ニュースレター、チラシ、案内の発送
  - 4) 写真記録ボランティア
6. 2019 年度事務局体制  
代表 足立 守/副代表 島岡 真/会計 川瀬隆夫  
広報 小林身哉、大場玲子、中澤満里子、西口幸子、丹慶勝市、大矢佳代子、竹内まゆみ  
会計監査 石井郁代

◆お知らせ◆

### 名大の自然 昆虫編

2019 年 7 月 22 日(月)～12 月 20 日(金)  
野外観察園セミナーハウス 2 階

## シリーズ Artist Earth (6)

### 忍ぶ石 (樹形石、Dendrite) 足立 守

写真(左)で、一見、シダ植物の化石のように見える黒い模様は“忍ぶ石”と呼ばれ、地下水に含まれる二酸化マンガが石の割れ目に樹枝状に成長したものです。樹枝状のパターンから、この“忍ぶ石”は写真の下から上方向に成長したことが分かります。“忍ぶ石”は本来の化石とは違うので、偽化石(ぎかせき、pseudofossil)に分類されています。

“忍ぶ石”ができている黄褐色の石は、ドイツ南部のバイエルン地方から産する中生代ジュラ紀のゾルンホーフェン(Solnhofen)石灰岩です。この石は古くから石版画(リソグラフ)の制作に使われてきましたが、採石の過程で見つかった始祖鳥の化石で世界的に有名になりました。ゾルンホーフェンの化石写真集をよく見ると、始祖鳥の足や尻尾の骨の周りには、小規模な“忍ぶ石”がカビのようにできていることがあります(写真右)。

“忍ぶ石”はゾルンホーフェン石灰岩だけでなく、世界各地の泥岩や火山岩などにも見られます。ただ、色の黒い石では“忍ぶ石”が目立たないので、明るく白っぽい石(火山岩なら流紋岩)ですとはっきりとわかります。

自然が作り出した“忍ぶ石”を森や草むらに見立て、これに太陽・雲・山・家などを描き加えて、一枚の風景画に仕上げる画家もいますが、自然の芸術(Artist Earth)にはかないません。

## 「写真サークル」新規会員の募集

### 丹慶勝市

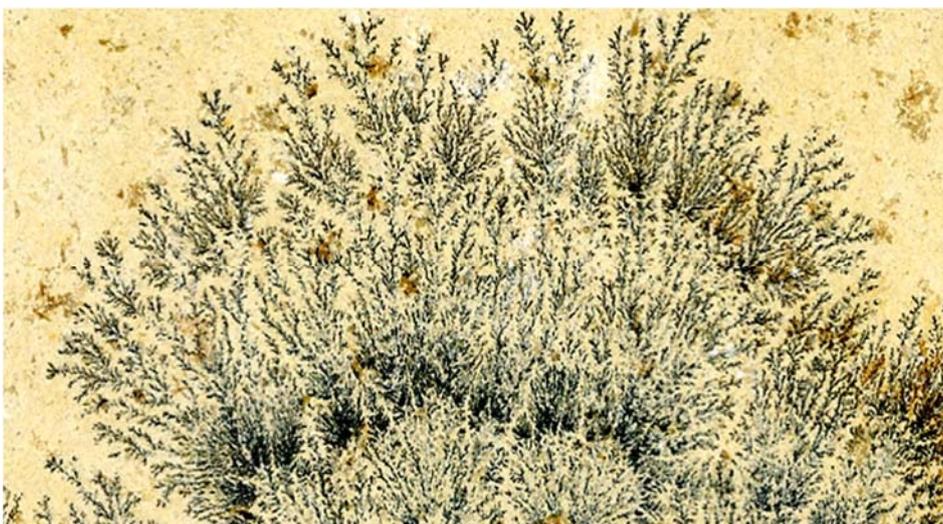
写真が好きなアマの集まりである「写真サークル」では、新しい仲間を募っています。デジタル一眼カメラで写真を撮る腕を磨いてみたいとお考えで、次の入会資格(A)～(C)を満たしている方なら、初心者から中級までいずれのレベルを問わず、どなたでも入会できます。年会費は2,000円です。

(A) デジタル一眼カメラをお持ち(または購入予定)の方、(B) 1、2、7、8月を除く毎月第2土曜午前に関開例会に積極的に出席して頂ける方、(C) パソコンでメールの送受信ができる方。

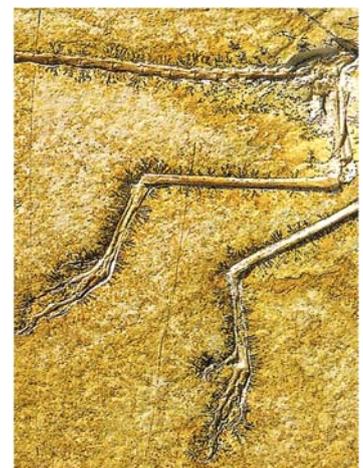
入会を希望される方はハガキに「写真サークル入会希望」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号、パソコン用のメールアドレス、関心のある撮影テーマ、カメラ歴、お持ちのデジタル一眼カメラの機種名を書いて、名古屋大学博物館気付で友の会「写真サークル」宛にお送りください。締め切りは**8月19日(月)必着**とさせていただきます。



ギャラリートークのひとつコマ (2019. 4. 6)



ゾルンホーフェン石灰岩の典型的な“忍ぶ石”(横約 18cm)



始祖鳥の足や尻尾の骨の周りで見られる小規模な“忍ぶ石”

(ゾルンホーフェン石灰岩の化石写真集、2002)

## 野外観察園 2019年夏

吉野奈津子

春以降お昼寝タヌキには出会えずちょっと残念な気分でおりました。それを察したのか、またまた珍客登場です。といってもアカミミガメ。ため池に行けば今やどこにでも見られます。実験用の植物を取りに来たとある研究室の方々が「カメがいる！」と池のへりで甲羅干ししているアカミミガメを捕獲してくださいました。お家で飼っていただけるそうで、ありがたい限りです。観察園での仕事も20年近くなりますが初めての出来事でした。アカミミガメとはかつては縁日でよく売られていたミドリガメのことで、5cmほどの子ガメも写真のように、こんなに大きくなります。侵略的外来種ワースト100というありがたくない名前をいただいています。生き物は最後まで責任を持って飼育しましょう。亀ネタで原稿があらかた埋まってしまうしましたが、今年はネムノキがきれいです。上を見るとセイヨウニンジンボク、ネムノキ、トウネズミモチの紫・桃・白で三層になっています。いらしたときには、ぜひ上を見てくださいね。蚊の対策もお忘れなく・・・。



サルビア・マクロフィラ (シソ科 *Salvia macrophylla*)



カメ捕獲



セイヨウニンジンボク (シソ科 *Vitex agunus-castus*)

ネムノキ (マメ科 *Albizia julibrissin*)

トウネズミモチ (モクセイ科 *Ligustrum lucidum*)

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付  
電話：052-789-5767 (博物館事務室) F A X : 052-789-5896 (博物館事務室)  
Eメール：hakubututomo@gmail.com アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

年会費 1000円 (4/1~3/31) 10/1~3/31 に入会した場合は 500円 (次年度は 1000円)

家族会員制度あり (同居の家族 1名まで)

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会